

夏バテから乳牛を守る!



教えてくれた人



乳牛研究室長さん

今回は、栃木県の試験研究機関が取り組む気候変動適応について紹介します。
栃木県畜産酪農研究センター乳牛研究室では、近年の夏季の高温が乳牛に及ぼす影響と暑熱対策について研究しており、その成果は県内酪農家の支援に活用されています。

乳牛は、暑さが苦手!

乳牛にとっての快適温度は、約4℃~20℃前後。これより暑いと水をたくさん飲み、食欲が減って、乳牛も夏バテを起こします。夏は、他の季節に比べ、乳量が3割ほど減り、乳中の脂肪分も低下します。

さらに、免疫力が低下して、乳房炎等を起こしやすくなるなど、病気にかかりやすくなってしまいます。

特に、近年の夏季の高温や熱帯夜は、乳牛にとって、大きなストレスになるため、対策が必要です。

本州1位※の酪農県

※生乳生産量

ミルクの国とちぎ

気候変動に負けず、酪農家の
努力で作られる、おいしい牛乳を
たくさん飲モウ~!



乳牛の暑さ対策!

栃木県では、「**ミルクの国とちぎ 乳牛の暑熱対策マニュアル**」をまとめ、酪農家に向けた**乳牛の暑さ対策**についての技術支援をしています。

研究の成果として、「牛体への15分間の散水で、体表温度を2℃ほど低下させるとともに、散水終了後も20分程度体表温度が低く維持される」ことが分かりました。特に発熱量の多い首元に水をかけると、より有効であると考えられます。これらを基にマニュアルでは、牛体への散水について紹介しています。

その他、グリーンカーテンを用いた牛舎の出入口や窓への遮光対策、送風機(ファン)を用いた牛舎内の通気など、牛舎内の気温を下げるテクニックについても掲載しています。

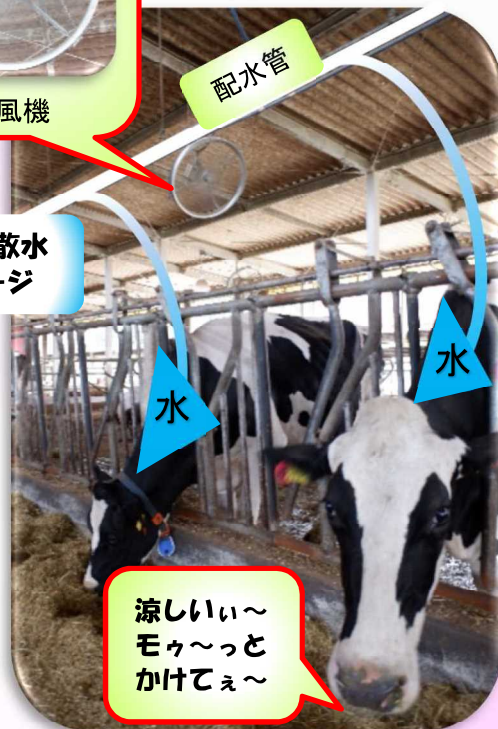
今後も、乳牛への「気候変動に対応した暑熱対策技術」を開発していきます。また、研修会などを開催し、これらの試験研究成果を活用して、酪農家を引き続き支援していきます。



送風機

配水管

牛への散水イメージ



涼しい~
モウ~っと
かけてえ~

くわしくは

ミルクの国とちぎ 乳牛の暑熱対策マニュアル

検索

